

第1回金浦中ブロック小中一貫教育校整備検討委員会会議録

日時 令和4年3月25日（金） 15時00分 開議
場所 教育委員会会議室

会議日程

1. 委嘱状の交付
2. 開会
3. 開会のあいさつ
4. 議事
 - (1) 委員長・副委員長選出
 - (2) 説明
 - ・ 笠岡市の小中一貫教育について
 - ・ 整備計画・基本計画について
 - ・ 今後のスケジュールについて
 - (3) 意見交換
 - ・ 委員の自己紹介
 - ・ どのような学校を作っていきたいか
 - (4) その他
5. 閉会

出席者（委員15名）

（委員長）

佐々木伸子（本会で承認）

（副委員長）

原田博道（本会で承認）

（委員）

山下敬広 筒井清人 加藤晃祐 山下恭司 襟立光衣 佐藤公三

大友萌 西江香織 西山佳奈子 軒良子 塚本知佳 梶野容子 花本弥生

（事務局 教育委員会）

教育長 岡田達也

教育部長 石田輝宏

教育総務課長 松尾千鶴 教育総務課主幹 福本彰弘 教育総務課係長 守屋元揮,

学校教育課長 山川達也 学校教育課参事 平田日出子

学校教育課一貫教育推進室 福尾雅俊 廣井正己

開会（15時00分）

1. 委嘱状の交付

開会の宣言前に、岡田教育長より委員へ委嘱状を交付する。

2. 開会

事務局が第1回「金浦中ブロック小中一貫教育校整備検討委員会」の開会を宣言し、事務局の自己紹介をする。

3. 開会のあいさつ

岡田教育長が開会のあいさつをする。

4. 議事

(1) 委員長・副委員長選出

・委員長の選出

指名推薦について尋ねるが、推薦なし。事務局からの指名選出を提案。委員から異議なしの声あり。事務局から福山大学の佐々木伸子先生を指名。委員から異議なしの声があり、委員長が選出される。

佐々木委員長より就任のあいさつ

・副委員長の選出

委員長より副委員長に金浦小学校の原田博道校長を指名。

(2) 説明

・笠岡市の小中一貫教育について

笠岡市の小中一貫教育は、まず前段として、平成23年度から推進に取り組んできた「保幼小中の連携教育」がある。一方で、国では教育基本法や学校教育法といった教育のおおもととなる法律の改正が行われ、小中一貫教育を行う義務教育学校を新たな学校の種類として制度化するなど、義務教育9年間の系統性あるいは連続性に配慮した指導の充実について、様々な提言が近年されてきた。一方、笠岡市においては、児童・生徒数が減少をたどり、学校の小規模化もどんどん進んでいるため、学力向上や生徒指導の充実といった観点から、全ての学校において、義務教育9年間を見通した教育のシステム作りを行うことが必要であると考えた。このような国の動向と笠岡市の実情を踏まえ、平成29年10月に笠岡市教育審議会を立ち上げ、平成30年12月に小中一貫教育答申書をいただいた。その内容に基づき、令和2年3月に笠岡市小中一貫教育推進計画を策定し、一貫教育を推進している。

一体型一貫校については、学校の小規模化が進む地区からの要望や議会からの後押し等もいただき、大きな教育的効果も期待できることから当初の計画を早めることとし、地元の皆様への説明会を行っているところである。現在作成中のリーフレットについては、3月中に納品予定のため、届き次第配付し、一貫教育について広く知っていただくための資料にしたい。

笠岡市の小中一貫教育の基本方針として、「学び・育ちを繋ぎ、自立して共に生きる子どもを育てる」とあるが、この「学び・育ちを繋ぎ」の部分が一貫教育を意味していると言っても良い。自立して共に生きる子どもを育てることを目標に、一貫教育を推進していく。

一貫教育の具体的な取り組みについて、リーフレットには6点記載しているが、3点目の「小学校高学年からの一部教科担任制」、「相互乗り入れ授業」は、小中一貫教育の中身において目玉となる取り組みと我々が位置付けている。しかし、移動時間や授業前後の打ち合わせ等の時間を考えると効率が悪い部分もあり、施設一体型である方が効率的に取り組みやすく、持続可能な取り組みにできると考えている。9年間で小1から小4の前期、小5から中1の中期、中2・中3の後期に捉え直し、その中で切れ目のない継続性のある学習・行事等を実施していく。特に小学校から中学校をまたぐ中期の部分が、小学生としての仕上げの意味合いと中学生への段差のない接続という視点において、ポイントになる部分であると考えている。

今年度、試行の1年目が終了した。しっかり検証して、2年目の試行に活かしていきたいと思うが、同時に、より一貫教育の効果が期待される一体型一貫校の開設に向けても、皆様の力を借り、確実に前に進めていけたらと考えている。

・整備計画・基本計画について

小中一貫校については、資料にあるように、学識経験者の方、地域の方、学校関係者の方、それから保護者代表の方など、皆さんが集まって1つの学校をどのように作っていくかと考えていただきたいということで、整備検討委員会を設立した。目的としては、整備計画基本計画の策定ということで、どんな建物を作りたいかという基本コンセプトの部分で、例えば、快適な施設、安全・安心、地域の意見を反映する体制づくり等、基本的な考えを皆さんで決めていきたいと考えている。その後、基本計画基本設計となるが、基本コンセプトを元に何階建ての建物を作るとか、あるいは教室の面積はどうする、階段はどうする、エレベーターはどうする、グラウンドはどうする等の具体的な、目に見えるところでの形を作っていく。この段階になると、コンサルタントが入って皆さんの意見を具体化していくような流れで、その都度協議をさせていただき、今年度中に整備計画・基本計画を策定したいと考えている。

・今後のスケジュールについて

令和4年度中に、整備計画・基本計画等を策定した後、令和5年度に詳細設計をし、2年間の建設、それから令和8年度の開設という流れで考えている。

おそらく小中一貫と言っても、皆さんの認識や意識がバラバラだと思うので、4月・5月ぐらいに、山南学園や府中学園などの先進地を実際に見ていただき、予算の関係もあるのでは何を重視したいかを皆さんと考えていきたい。6月以降は、その具体的なイメージを持って、コンサルが入って議論ができたらと考えている。

(質疑なし)

(3) 意見交換

佐々木委員長（福山大学工学部建築学科 准教授）

この計画の概要・スケジュール等を説明いただいたので、ここから意見交換という形をとらせていただく。今日、これが初顔合わせで、遅くなったが、自己紹介を一

人ずついただいて、そして新しい学校への期待とか、「こんな学校があると良いな」というような思い等を一言いただければと思う。個人的な考えで構わないので、先程、辞令をいただいた順番でお願いします。

佐藤委員（陶山小学校 校長）

全ての子ども達にとって良いものというのは、どういうものだろうかという視点から関わるのができたらと思っている。

西江委員（陶山小学校 P T A会長）

小学校6年の娘は、この取り組みの期間に関わることはないが、今いる小さい子等が、小学校・中学校に上がるにつれて、皆でより良いものができたら良いと思う。

山下委員（笠岡市教育委員）

教育委員という役目をいただいているが、仕事としては笠岡市内で一級建築士事務所を開設しているので、建築に関しては比較的意見を出すことができるかと思っている。大島東小学校との統合の時期にちょうど大島小学校のP T A会長をやっていたこともあり、小学校という地域のシンボルが、子ども達に対しては当然素晴らしいものであるべきだが、地域の方々にとってもこのシンボルの存在はすごく大事なものになるので、そういった観点からも意見が出せたら良いと思っている。

筒井委員（金浦地区まちづくり自治協議会 会長）

金浦は高齢化が進んでいて、民生児童委員の責任者と行政協力委員の関係も兼ね合わせてやらせていただいているので、市の動きとか全体の動きはある程度把握しているつもりである。一貫教育については、事務局の方からそれぞれの会合で説明していただき、ある程度は理解できていると思う。ただ、金浦地区は範囲が広がるので、一番今気がかりなのは、通学距離が長くなるということである。設備に関しては、予算が許せば、良いものができればいいと考えている。

加藤委員（城見地区まちづくり協議会 会長）

地域の方にいろいろとご意見を聞きながら、小中一貫校について今まで3回ぐらい話し合った。地域から言うと、学校に来ると何キロまではどうするのか、あるいはバスを出すのか、4キロまでは歩きという話も聞いているが、城見が直線にすると全部4キロになる。歩いたら1時間半ぐらいかかるということではちょっと問題かと思う。これから通学路も変えなければいけない。中学校の所へ小学校が一体になると、水害の時にどうするのかという問題も話に出ている。これからしっかりと意見を聞かなければいけないし、青パトもどこへ立ってもらえるのか、そういうところも考えなければいけない。いろいろとあると思うが、これから1つ1つ詰めていかなければいけない。皆さんで協力していければ良いと思う。

山下委員（陶山地区まちづくり協議会 副会長）

陶山の公民館長もやっており、公民館として子ども達に関わっていることは結構あると感じている。今まで全然タッチしていなかったもので、そういうことを強く感じている。この委員会でできるだけできることがあれば、やっていきたいと思っている。

原田委員（金浦小学校 校長）

学校現場を預かる者として、1年間試行の方をやってきた。すると、小中一貫教育はあれもこれも、あれも気になるといっぱいある。そういう中で、「何を深めていくのか」ということを今年度末考えている。本当に地域の方々との連携の中でもやっていかなければいけないし、学校教育だから、当然学力等も考えていかなければいけないが、その中でできることをやらせていただこうと思っている。やはり教員の力というものには限りがある。建物による教育の効果はすごくあると思っているので、教員の手が届かないところは建物に補っていただくということも期待しながら、この会が是非良いものになっていただけたらと思っている。

襟立委員（城見小学校 校長）

先程、大島東小学校の話が出たが、閉校の年に校長だったので、その時の子ども達や保護者や地域の皆様の気持ちもよくわかっているし、統合先の大島小学校との連携等もよくわかっている。30年ほど前に寄島小学校が、寄島西小と寄島東小が統合した時、開校式にも私はいたので、真っ新たな図書室に本を並べた記憶もある。だから本当に皆が、子どもにとっても先生にとっても、地域の人にとっても笑顔になるような建物ができると良いと思っている。

大友委員（金浦中学校 PTA会長）

小学校の子も中学校の子も城見小学校と金浦中学校に通っているが、通学路が危ない所もたくさんあるのが気になる。歩くと時間もかかるので、通学路が特に気になるところで、校舎については、これから考えていけたらと思っている。

西山委員（金浦幼稚園 PTA会長）

幼稚園と小学6年生の子どもがいるが、中学校のことがわからないので、親としても子どもとしてもちょっと緊張しているところがあるので、スムーズに中学校に上がれるようになるのはすごく良いことではないかと思う。ただ、私も経験がないので、未知のことで、すごく良い小中一貫になれば良いと思っている。

軒委員（城見保育所 保護者代表）

私は子どもの頃、城見小学校、金浦中学校と通ったが、正直に言うと、城見小学校がなくなるということに寂しい思いがある。でも、子ども達がよりよい教育を受けられるというのは、とても良いことだと思う。ただパンフレットとかを見て、「こういう風にいけばいいな、理想だな」と思うのが、現実はどうなのだろうかと、まだ不安がある。うちの子は4年生から、小学校から小中一貫校に変わるようになるが、その変わった時のギャップというか、そういう時に子ども達はどう感じるだろうかということに不安に思っているところがある。私自身まだ勉強不足なことがたくさんあるので、この会議を通じて私自身も勉強を深めていけたらと思っている。

塚本委員（金浦保育園 保護者代表）

小中一貫校のことについての説明会も1回行かせていただいたこともあるが、きちんと理解できていない部分も多いので、これから私もいろいろ理解していくとともに、子ども達にとって安心して安全な学校生活を送れるようになれば良いという思いでいる。

梶野委員（新川保育所 保護者代表）

いろいろな説明会等に参加させてもらって、周りの親御さんから通学路の不安だったりとか、建物の不安などを聞いているので、そういう所の不安も取り除いて、子ども達にとってもよりよい環境が作れるようになれば良いなと思っている。

花本委員（太陽の森保育園 保護者代表）

私自身は中央小学校と東中学校の地域で育って、まだ金浦の地区に引っ越してきて1年半ぐらいで、子どももまだ1歳半で、多分2年目ぐらいに新しくできる小中一貫校に入るのかと思う。ちょっと心配だなと思うのが、新しい所にぼんと小さい子どもが入っていく不安とか、中学生とかも突然小さい子どもが入ってきてということもあったり、思春期とかもあるかもしれないので、そういった不安とかも解消していけたらと思う。

（4）その他

・会議の公開について

委員長より会議の公開について提案。委員から了承の声あり。

・事務連絡について

会議録等が完成後、ホームページ等で公開する。

P T Aの代表等で来年度の委員の変更がある場合には、手続きがあるため、報告をお願いします。

手続きに必要な書類の提出を依頼する。

閉 会 （15時50分）